

Elazzio

SEAT COVER



DAIHATSU
TANTO
TANTO CUSTOM
SUBARU
CHIFFON
CHIFFON CUSTOM

専用シートカバー取付説明書

6517/6518/6519

Glazzio

SEAT COVER

このたびは「Glazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

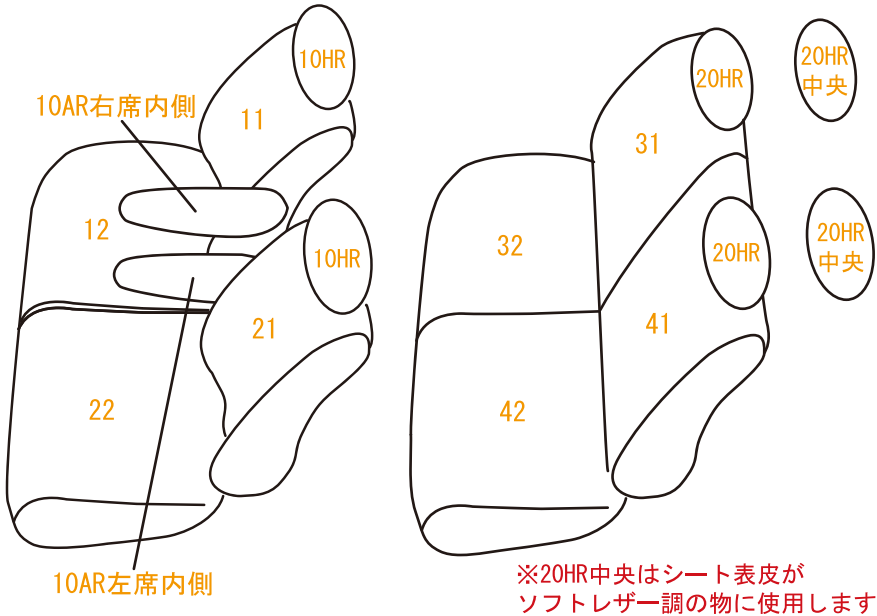
…> 05-38

シートカバーの装着方法

…> 39-40

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ(ソケット : 10mm・14mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

主にシートリフター装備車で説明を行っていますが、シートリフター未装備車も一緒に確認して下さい。シートリフター部分を除いて、その他は同様に装着します。

※シートカバーの装着にはシート裏側での作業があります。シート裏側には鋭利な金属もありますので怪我をされないように作業を行って下さい。



- 1 シートリフター装備車はシートカバーを装着する前に確認して下さい。シートリフターのレバーを動かすとレバー内側のプラスチックパーツと擦れる場合があります。擦れないように意識してレバーを動かすと、プラスチックパーツに当たることはありませんが、こちらはシートカバーを装着する前から起こり得る現象で特にシートを下げようとする際に起こります。シートカバーを装着したことが起因となり起こり得る現象ではないことを、予め確認して下さい。



- 2 シートリフター装備車はカバーを装着する前にシートを一番高い位置へ調整しておきます。



- 3 シート背面下の図の点線で囲んでいる生地を固定を外します。



- 4 シートの前側からシート裏を写した図です。シート裏の金属部分に黒色と白色のゴムが引っ掛けられています。このゴムの固定を全て外します。
※ゴムの色は仕様変更などで変わる場合があります。



- 5 4番でゴムを外すと生地は一部外れますが、生地が開いている穴に図のような配線が通っているため、完全に生地の固定が外れた訳ではありません。ゴムを外しても生地を無理に引っ張らないように注意して下さい。



- 6 シートの背面から3番の生地を引くと図のように生地が出てきます。黒いゴムが付いている生地はシートの背面側から出てきますが、白いゴムで固定されている生地は一定の隙間ができる程度で止まります。こちらは配線によりこれ以上は引き出せないようになっているので、無理に引っ張らないように注意して下さい。
※ゴムの色は仕様変更などで変わる場合があります。



7 シートリフター装備車はレバーを外します。まずレバーの軸部分にあるキャップをヘラなどを使用して外します。



10 9番と同様に、シート内側のシートの軸になる部分のプラスチックパーツ下側のネジを、ドライバーを使用して外します。



8 キャップを外すと中にネジが1本あります。そのネジをドライバーを使用して外すと、シートリフターのレバーが外れます。



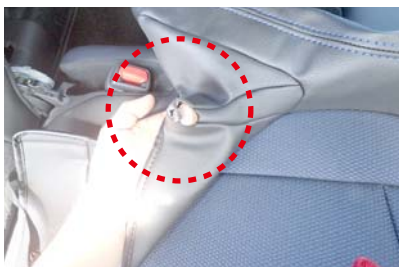
11 10番のプラスチックパーツをシートから外します。図のシート表面側から見た位置にプラスチックパーツのツメがあります。ツメの位置を意識して上へめくり上げるようにして外していきます。



9 リクライニングレバーの軸の下側にあるネジを、ドライバーを使用して外します。
※図はシートリフター未装備車ですが、シートリフター装備車も同様にネジを外して下さい。



12 プラスチックパーツが外れました。プラスチックパーツの裏側は図のようになっています。図の突起の部分は、9ページ26番の説明に出てきます。



- 13 カバーを装着する前に確認して下さい。カバーのシートベルトバックルが収まる位置辺りの生地には、図のように穴が開いています。穴は何かを通すために開いている訳ではないので、バックルなどを通そうとしないように、注意して下さい。



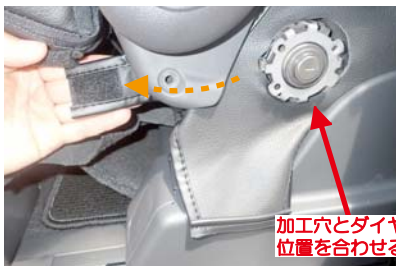
- 14 シートの内側からカバーをかぶせます。シートの内側の図の部分はカバーが袋状になっています。シートに引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 15 14番の位置を軸として、シート全体にカバーをかぶせます。



- 16 カバー外側に付いているマジックテープのベルトとカバーの端を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 17 6ページ9番でネジを外したプラスチックパーツの内側に、図のように生地を通します。通した生地にはネジ穴の位置に加工穴を開けているので、ネジ穴の位置と生地穴位置が合うようにして下さい。シートリフター装備車はカバーの加工穴の位置と、シートリフターのダイヤルの位置を合わせます。



- 18 背もたれと座面の隙間に生地と生地に付いているベルトを入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 19 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。こちらは5ページ6番の生地が完全にめくり上がらないため作業が行い辛くなっています。生地を外側から内側からと片側ずつ引き出し、均等に引き出すようにして下さい。



- 20 引き出した生地の端と、7ページ17番でプラスチックパーツの内側を通した生地の端を、マジックテープで固定します。



- 21 7ページ16番で入れ込んだマジックテープのベルトを、シート裏の隙間から引き出します。



- 22 マジックテープのベルトはシート裏側の金属部分に巻き付けて、マジックテープ先端のオス部分をメスの部分に貼り付けて固定します。



- 23 シートリフター装備車はシート下の図の隙間に、端に固定部材の付いた生地をへらなどで入れ込みます。この隙間は固定部材が完全に入り込むほど奥行きがありません。固定部材が途中で引っ掛かる程度に入れ込んで下さい。



- 24 23番で入れ込んだ生地は、シートカバーを装着後シートを下げると、図のようにシワになることがあります。こちらは生地を吸収するだけの隙間が無いため、予めご了承下さい。



- 25 6ページ12番でプラスチックパーツを外した後の部分です。図のように純正のシート地をめくり上げて金属部分が剥き出しになっている状態にします。



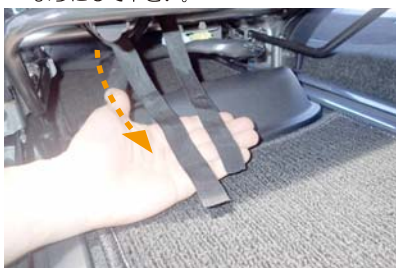
- 26 8ページ20番のシートの外側と同様に、カバー内側の生地端を、8ページ19番で引き出した生地端とマジックテープで固定します。カバー内側の生地にはネジ穴と6ページ12番で表記している突起部分の加工穴を開けています。ネジ穴の位置、突起部分の位置に加工穴の位置を合わせます。



- 27 プラスチックパーツを生地を挟み込み元通りに固定します。6ページ11番のツメを先に引っ掛けて固定して下さい。



- 28 8ページ19番で引き出した生地端の端に付いているベルトを、シートの裏から前側へ入れ込みます。シートの裏には金属のバーやあらゆる配線があります。出来る限りそれらの上を通すようにして下さい。



- 29 シートの前側から入れ込んだベルトを引き出します。



- 30 引き出したベルトをカバーの前側に付いているバックルに通します。



- 31** ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端を通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。



- 32** シートベルトバックルの内側の生地を整えます。



- 33** シートリフター装備車はシートリフターのレバーを元通りに固定します。



- 34** カバーのラインを整えて、シートリフター装備車の1列目運転席座面の完成です。



- 35** カバーのラインを整えて、シートリフター未装備車の1列目運転席座面の完成です。

Step 2

…> 1列目運転席背もたれの装着方法

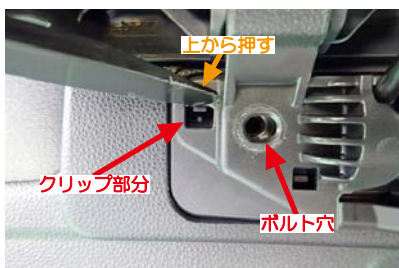
シートバックテーブル装備車の説明も含まれていますが、未装備車の場合も一緒に確認して下さい。
シートバックテーブル部分を除いて、その他は同様に装着します。



- 1 シートバックテーブル装備車はシートバックテーブルをシートから外します。
図はテーブルを起こしてテーブルの裏側を写した図です。テーブルの裏側に4本のボルトがあります。まずこのボルトを外します。



- 2 ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。
ソケットは10mmを使用します。



- 3 2番で外したボルトの両端の横に、図のクリップでテーブルを固定している部分があります。
こちらはヘラなどを使用して上からクリップ部分を押し、テーブルを手前に引くと固定が外れます。



- 4 クリップの固定が外れてテーブルがシートの固定から外れました。片側ずつ作業を行い、両端ともクリップの固定を外します。



- 5 シートからテーブルが外れました。
外したテーブルは外したままの状態、作業の邪魔にならない場所に運び出して下さい。



- 6 テーブル部分を囲っていた図のプラスチックパーツを、少し上へスライドさせて手前に引いて外します。



- 7 シート背面のスライドレバーを囲っているプラスチックパーツを外します。プラスチックパーツは角の位置にツメが4か所あります。図のようにツメ付近にヘラなどを差し込み、手前にヘラを返すようにするとツメが外れます。
※ツメの位置は8番を参考にして下さい。



- 8 シートの背面からプラスチックパーツが外れました。



- 9 アームレストをシートから外します。始めにアームレスト軸部分のキャップを、ヘラなどを使用して外します。



- 10 プラスチックキャップは図のように外れます。



- 11 ソケットレンチなどを使用してアームレストを固定しているボルトを外します。ソケットは14mmを使用します。



- 12 アームレストがシートから外れました。アームレストを固定しているボルトにはパッキンなども付属しています。無くさないように注意して下さい。



- 13 カバー側面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 16 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込む生地にはフックが付いています。フックで座面カバーを傷付けないように、注意して下さい。



- 14 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



- 17 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 15 生地の伸びを利用して台座を取り出します。
 ※革を使用したカバーでは、革は伸びないため加工穴が裂けてくる場合があります。生地が裂けてきても慎重に作業を行っていただければ台座の幅以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



- 18 シートバックテーブル装備車はシートバックテーブルを元に戻します。まず図の加工穴の位置からシートバックテーブルを固定しているツメ・ボルト・クリップの穴位置が出ているか確認します。※穴位置を生地が覆っている場合は、カバーがずれている可能性があります。カバーのラインを見直して下さい。



- 19 11ページ6番で外したシートバックテーブルを囲っているプラスチックパーツを、元に戻します。
図の矢印部分は20番で説明しています。



- 22 ボルトを元通りに固定します。
※こちらはボルトを締めすぎるとプラスチックパーツが破損する恐れがありますので注意して下さい。



- 20 プラスチックパーツに戻す際は上側のツメと、19番の矢印位置にある突起部分もシートの穴位置に合わせて元通りに固定します。この突起が外にはみ出ているとプラスチックパーツがシートから浮いてしまうので、注意して下さい。



- 23 シートバックテーブルは図のように固定されます。



- 21 11ページ3番のクリップの位置を合わせて、テーブルをシートに戻します。



- 24 12ページ8番で外したプラスチックパーツを元に戻します。
スライドレバーの周りとかバーの加工穴位置を合わせます。
カバーの加工穴はプラスチックパーツのツメを固定する位置より若干内側に小さくしています。これは12ページ7番でヘラを差し込んでいた様子からも分かるように、奥行きがあまりないため、生地がはみ出してくることを防ぐ目的で加工穴を少し内側に小さくしています。



- 25 プラスチックパーツを生地を挟み込み元通りに固定します。ツメの位置に生地が覆い被さっているとしっかり固定できないため生地を外側に避けながら固定して下さい。



- 28 13ページ17番で引き出した生地についているフックを、27番の純正シート地を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。フックは全部で3個あります。



- 26 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を13ページ17番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



- 29 カバーの両側面に付いているファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 27 シート背面の5ページ6番で固定を外した生地を少々強引にめくり上げた図です。図の矢印の通りに純正シート地を固定しているフックがあります。



- 30 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 31** 5ページ6番で外した生地を元通りに固定します。
図でめくり上げているカバーには2本のマジックテープが付いています。



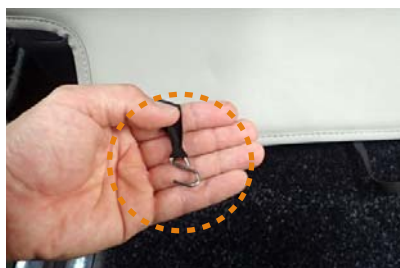
- 34** 金属フックをシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



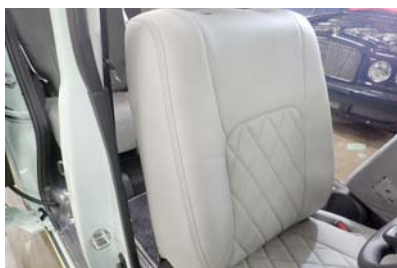
- 32** 31番で固定した生地に、2本のマジックテープを直接貼り付けて固定します。



- 35** シートの背面下は図のようになります。



- 33** カバーの背面下にゴムが2本付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 36** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。

Step 3

…> 1列目助手席座面の装着方法



- 1 シート背面から出ているシートベルトの内側に、シート表皮を固定している生地を引っ張るつまみのような生地があります。その生地を掴み引っ張ります。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 1番の生地を引っ張ると図のようにシート表皮を固定していたフックが外れます。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出しますが、この際シート内側のワイヤーのような線を端に寄せておきます。



- 3 カバーを装着していきます。シートの内側に7ページ14番の運転席と同様に生地を引っ掛けて、そこを軸としてシート全体にカバーをかぶせます。



- 6 シートの外側にもチューブに包まれた配線があります。こちらも生地を引き出せるように端に寄せておきます。



- 7 17ページ4番で入れ込んだ生地を、5番・6番の線をかわしながら引き出します。



- 10 フックの先端が外れてこないように、ヘラなどを使用してしっかりと入れ込みます。



- 8 17ページ2番で固定を外したフックを折り畳み、引っ掛けていたプラスチックパーツの内側へと入れ込みます。



- 11 カバー外側の固定部材の付いた生地を、生地と一緒にプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



- 9 7番で引き出した生地に付いているフックを折り返して、17ページ2番で外したフックと同様にはめ込み固定します。
※純正シート地を固定していたフックよりカバーのフックの方が大きいので、完全にはフックがはまりません。フックの先端を入れ込むように固定して下さい。



- 12 カバー外側の後ろ側も、固定部材の付いた生地を、生地と一緒にプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



- 13 カバー外側の軸部分にはゴムが付いています。



- 16 金属フックをシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 14 ゴムをシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 17 カバーの前側にはマジックテープのベルトが2本付いています。



- 15 入れ込んだゴムをシートの裏側から引き出します。
ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 18 マジックテープのベルトはシート裏の金属部分に巻き付けて固定します。
※図の金属部分まで届かない場合は手前の金属バーに巻き付けることも可能です。



19 カバー前側のシート裏は図のようになります。



22 カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。



20 シートベルトバックルの収納部です。シート軸側のカバーに固定部材が付いています。固定部材を生地と一緒にプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。こちらの隙間は大変狭くなっています。生地が裂けたりしないように作業は慎重に行ってください。



21 シートベルトバックルの収納部は図のようになります。

Step 4

…> 1列目助手席背もたれの装着方法



- 1 カバーを装着する前にアームレストを外します。アームレストの外し方は12ページ10番～12番を参考にして下さい。



- 4 シートバックテーブル装備車は、テーブルを外します。シートバックテーブルの外し方は11ページ1番～5番を参考にして下さい。



- 2 シート背面のバックボードからコンビニックを外します。コンビニックのキャップを図のように開けます。こちらは指で掴み、軽く引っ張ると開きます。
※シートバックテーブル装備車は4番から確認して下さい。



- 5 シート背面のバックボードをシートから外します。まずスライドレバーの下に付いているフックを、フック付近のボードの端を手で掴み手前に引きます。図では片手になっていますが、両手で同時に手前に引くようにして下さい。フックの固定は余り固くは無いので、慎重に作業を行って下さい。外した後のフックの形状は22ページ9番で確認できます。



- 3 2番で開いたキャップの内側にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。ボルトを外すとコンビニックが外れます。



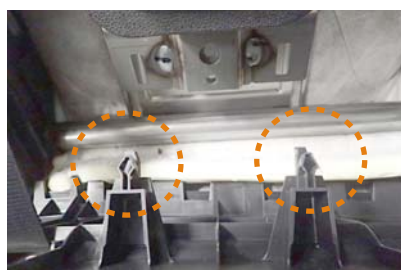
- 6 フックの固定が外れると、スライドレバー周りの隙間からフックが見えます。



- 7 バックボード裏の上側に付いているツメを外します。バックボードをシートに沿わせながら真上に持ち上げます。ツメの位置は8番を確認して下さい。
※図では片手になっていますが、両手でボードの両端を持って作業を行って下さい。



- 8 上側のツメが外れると、バックボードの上側と側面がシートから外れた状態になります。



- 9 21ページ5番で外したフック部分です。



- 10 バックボード下側のシート表皮の固定を外します。シート表皮を固定しているツメが挟まっている図の部分をへらなどを差し込み、開きます。



- 11 10番の部分を隙間を広げながら生地を引くと、図のように固定部材が外れていきます。



- 12 11番のように固定部材の一番端が外れると、外れた生地を引っ張ることで徐々に固定部材は外れていきますが、なるべく10番で広げた部分を図の番号順に徐々にずらしながら広げて、固定部材を外していくようにして下さい。生地を無理に引っ張ると純正シート地が裂けたり、固定部材の縫製系が切れる恐れがありますので、注意して下さい。



- 13 プラスチックボード下側の固定が外れると図のようにシートからプラスチックボードが外れます。
この時点ではシートベルトがまだ引掛かっています。シートベルトをボードの隙間に通して外します。



- 14 シートベルトを外すと図のように完全にシートからプラスチックボードが外れます。プラスチックボードは車内に置いておくと作業中破損させる恐れがあります。作業の邪魔にならない車外に置いておくようにして下さい。



- 15 カバーを装着していきます。カバー背面のファスナーを完全に開いて、シート肩口のシートベルト周りを包むようにしてかぶせます。



- 16 カバーをゆったりかぶせた状態で、カバー背面のファスナーを半分ほど閉じます。
※カバーをしっかりとかぶせた後では、ファスナーを閉じることが困難になります。



- 17 ファスナーを半分程度閉じた状態で、シートベルトが出ている台座部分をカバーから取り出します。
まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



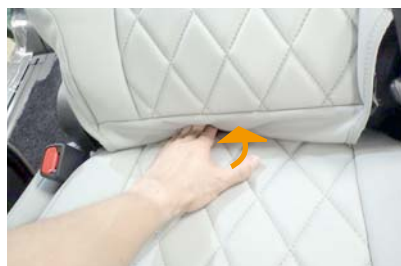
- 18 次に反対側の台座のフチにも生地を入れ込み台座を全て取り出します。



19 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



22 半分ほど閉じていたファスナーを全て閉じます。閉じたファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



20 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



23 カバー側面の生地をシートに馴染ませながら、シート背面で純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



21 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



24 反対側の側面も同様です。純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



25 ヘッドレストの台座を取り出します。



28 カバー外側の背面下です。こちらは先端に何も固定部材の付いていない生地になりますが、シートの背面側に引っ張り出します。生地はその後シートに戻すプラスチックボードで挟み込み、固定するようになります。



26 シート肩口のリクライニングレバーのフチに生地を入れ込みます。



29 プラスチックボードを元に戻します。



27 シートベルトの台座部分の生地が、台座からはみ出したり、周りがシワになったりしないように生地を馴染ませます。



30 24ページ21番で引き出した生地を改めてしっかりと引き出して、端に付いているフックの先端を手前に向けます。



- 31 22ページ10番から外していった純正フックと同じように固定するよう、カバーのフックを固定していきます。ヘラなどで広げた隙間に25ページ30番のカバーのフックを差し込みます。フックの先端が出てくるまでしっかりと差し込んで下さい。



- 32 途中までフックを差し込んだ時点でシートベルトをボードの隙間に通します。



- 33 全てのフックを差し込みプラスチックボードの表側から確認します。



- 34 プラスチックボード上側のツメを固定します。この際、22ページ10番から外した純正シート表皮を、シートクッションごと図のように純正シート表皮のフックを固定していた部分より内側に巻き込みます。
※純正シート表皮とシートクッションを内側に巻き込んでいないと、プラスチックボードがシートから浮きやすくなります。



- 35 カバーの生地・34番で巻き込んだ純正シート地とクッションの厚みがある分プラスチックボードは戻し辛くなっています。図の点線部分のプラスチックパーツは簡単に外れるので、外して作業を行うことでツメの位置を確認しながら作業が行えます。



- 26P▶ 36 21ページ5番で外したスライドレバー下側のフックを固定します。スライドレバーの下隙間から、フックの位置が合っているか確認します。



- 37** フックの位置を意識してボードを押し込み固定します。
 ※こちらのフックはあまり強固な固定ではないため、シートを可動させているとフックが外れてくる場合があります。その場合は改めてボードを押し込み固定し直して下さい。



- 38** 26ページ**35番**でプラスチックパーツを外している場合は元に戻します。ボルトの穴位置がしっかりプラスチックパーツの中心に来ているか確認して下さい。
 ※少しでも中心からずれている場合は、この後コンビニフックを戻す際にプラスチックパーツが浮いてくる場合があるので、注意して下さい。



- 39** コンビニフックを元通りに固定します。
 ※こちらはボルトを締めすぎるとプラスチックパーツが破損する恐れがありますので注意して下さい。



- 40** シートバックテーブル装備車はテーブルを元通りに固定します。



- 41** カバーのラインを整えて、1列目助手席背もたれの完成です。

ここからはシートカバーを装着したことでシートベルトの巻き取りが鈍くなった場合の確認方法を説明します。またシートベルトの台座周りの生地がきれいに収まらない場合などにも役立つ作業となります。
 カバーの装着に問題が無く、**42番**の確認で問題が無ければ特に確認して頂く必要はありません。



- 42** シートカバー装着後、図のようにシートベルトを引っ張り、手を放して問題なくシートベルトが巻き取られるか確認して下さい。シートベルトの巻き取りが明らかに鈍いと感じた場合は、28ページ**43番**からの内容を確認して下さい。



この部分が干渉して
いないか確認する

- 43 始めにシート背面のシートベルトが出ている部分を確認します。カバーのフックが純正シート地のフックより大きいため、生地とシートベルトが干渉する場合があります。しっかり固定していれば干渉しない程度の隙間ができるので、こちらで干渉している場合は、18ページ9番・10番のカバーの固定をやり直して下さい。



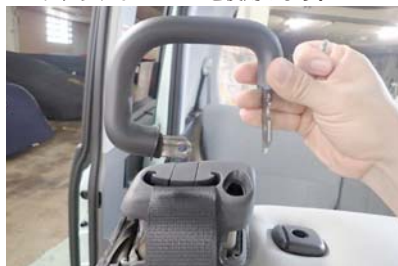
- 44 43番の確認でも解消されない場合はシートベルトの台座部分を外して確認します。まずシートベルトの裏側にあるネジを、ドライバーを使用して外します。



- 45 次にボルトを隠している目隠しのブラキャップをヘラなどを使用して外します。こちらは前と内側に2か所あります。



- 46 2か所ある目隠しのブラキャップを外すと中にそれぞれボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。



- 47 2か所ともボルトを外すと、まずシートを可動させる際に挿むアーム部分が図のように外れます。



- 48 台座を持ち上げると完全にシートベルトの台座部分が外れて、台座の内側が確認できます。この内側で入れ込んだ生地などがシートベルトに直接干渉したり、生地が内部の部品を押し付けて、間接的にシートベルトの巻き取りに影響していると、シートベルトの巻き取りに影響します。台座の内側に生地を入れ込む以上、ある程度は干渉しますが、明らかにシートベルトの巻き取りに影響が出ている場合は、カバーの装着をやり直して下さい。

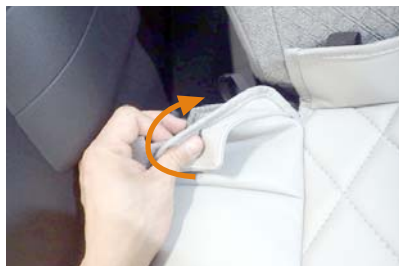
※カバーの装着をやり直しても改善されない場合は、直ちにカバーの使用を止めて、弊社へご連絡下さい。

Step 5

…> 2列目運転席側座面の装着方法



- 1 カバーを前側から後ろ側へ、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 2 シート外側の付け根部分です。カバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込んだ生地についているベルトをシート裏を通して、シートの前側へ入れ込みます。



- 4 入れ込んだベルトをシートの前側から引き出します。この際、図の点線で囲んでいるシート裏部分の上にベルトを通すようにして下さい。



- 5 カバーの前側に付いているバックルとベルトを固定します。ベルトの固定方法は10ページ31番を参考にして下さい。カバーの前側は図のようになります。



- 6 カバー内側の前側に付いているベルトを、シート裏を通して外側から引き出します。



7 29ページ6番で引き出したベルトを、カバー外側の前側に付いているバックルに通して固定します。



10 29ページ2番で引っ掛けた生地裏側とカバー外側の後ろ側の生地を、互いに寄せ合いマジックテープで固定します。



8 カバー外側の側面に2本のマジックテープベルトが付いています。



11 カバー内側の側面に2本のマジックテープベルトが付いています。



9 マジックテープベルトをシート裏の金属部分に巻き付けて固定します。



12 マジックテープベルトをシート裏の金属部分に巻き付けて固定します。



- 13 カバー内側のシートベルト収納部辺りの生地にマジックテープが付いています。



- 16 シートベルト収納部の端にゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けてシート裏へ入れ込み、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 14 マジックテープをシート裏へ入れ込み、助手席側から引き出します。
この作業をする際は運転席側のシートを後ろに、助手席側のシートを前にして作業を行って下さい。



- 17 29ページ2番で引っ掛けた生地端のゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けてシート裏へ入れ込み、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。ゴムは図のプラスチックの軸の内側を通してシート裏へ入れ込むようにして下さい。



- 15 マジックテープをカバー内側の点線部分に付いているマジックテープと固定します。



- 18 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

Step 6

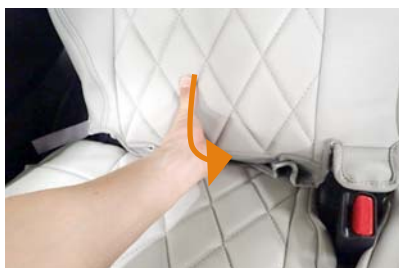
…> 2列目運転席側背もたれの装着方法



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態にして、シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 2 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 4 シート外側の軸部分です。カバーの端にマジックテープが付いています。マジックテープを軸の内側を通して、シートの背面から引き出します。



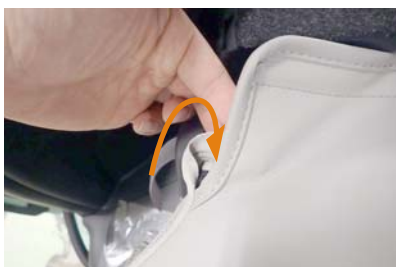
- 5 シート内側の軸部分です。カバーの端にマジックテープが付いています。マジックテープを軸の内側を通して、シートの背面から引き出します。



- 6 3番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 7 32ページ4番でシートの背面から引き出したマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 10 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 8 32ページ5番でシートの背面から引き出したマジックテープも、直接シートに貼り付けて固定します。
シートの背面は図のようになります。



- 11 32ページ6番で引き出した生地と、カバーの背下をマジックテープで固定します。



- 9 カバー外側のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



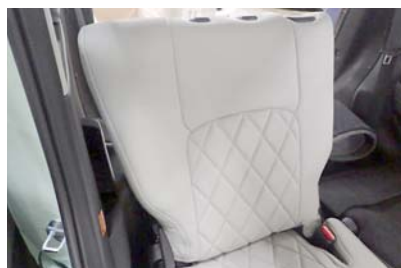
- 12 リクライニングレバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 13 リクライニングレバー部分は図のようになります。



- 14 シート内側の図の部分に、カバーのマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 15 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

Step 7

…> ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



- 1 カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2 カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、マジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 5 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、マジックテープを固定します。

2列目ヘッドレスト



- 1 ※2列目ヘッドレストは2種類あり、2種類のシートカバーを同梱しています。ファブリックシートはカバーのタグに2OHRと印字しているものを、ソフトレザー調シートは2OHR中央と印字しているカバーを使用して下さい。形状は異なりますが、どちらも同様の固定方法でカバーの装着を行います。ヘッドレストの先端にカバーを引っ掛けるようにして、カバーをヘッドレスト全体にかぶせていきます。



- 2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 4 1列目と同様にブラフックを固定します。ブラフックの固定方法は35ページ5番を参考にして下さい。ヘッドレスト裏側は図のようになります。



- 5 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 8

…> アームレストの装着方法



- 1 カバーの大きい方の加工穴から図のようにカバーを裏返して、アームレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせませす。



- 2 カバーをアームレスト全体にかぶせませす。アームレストの後ろ側にカバーをかぶせていく際は、慎重に作業を行って下さい。



- 3 カバーをアームレスト全体にかぶせませす。カバーのラインを整えます。



- 4 アームレスト軸部分のプラスチックパーツのフチに生地を入れ込みませす。こちらはプラスチックパーツと加工穴の大きさは大して差がありません。生地が少しはみ出してくる程度は問題ありません。



- 5 アームレスト外側の軸部分のプラスチックパーツのフチに生地を入れ込みませす。こちらは表から見える部分になります。しっかりと生地を入れ込んで下さい。



- 6 アームレストをシートに戻しませす。

完成図



7 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。



1列目



2列目



2列目背面から

※図はシートバックテーブル未装備車

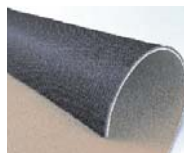


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができて変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまう。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816